

第39回少年の主張会津若松市大会開催要綱

1. 趣 旨 人格を形成するうえで、重要な時期にある少年たちが、日頃考え、感じていることを、広く社会に発表することにより、同世代の少年が社会の一員としての自覚を高めることを期待するとともに、少年の健全育成に対する一般の理解と協力を深める契機とする。
2. 対 象 発表者 小学生及び義務教育学校（前期課程）児童の部（6年生）
中学生及び義務教育学校（後期課程）生徒の部
3. 主 催 会津若松市青少年育成市民会議
4. 共 催 会津若松市／会津若松市教育委員会
会津若松西ロータリークラブ／ワイズメンズクラブ北東部
5. 後 援 福島民報社／福島民友新聞社
6. 日 時 令和7年7月31日（木）

小学生・義務教育学校児童の部	中学生・義務教育学校生徒の部
08:30 受付開始／09:00 開会	13:30 受付開始／14:00 開会

※小学生及び義務教育学校（前期課程）児童の部と中学生及び義務教育学校（後期課程）生徒の部は入れ替えとなります。
7. 会 場 会津若松市役所本庁舎1階 市民ホール
8. 募集期間 令和7年5月28日（水）～7月2日（水）必着
9. 募集人数 市内各小中学校・義務教育学校より代表者1名
※義務教育学校は前期課程6年生及び後期課程よりそれぞれ1名ずつ
10. 発表内容
 - ・社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案、学校生活、家庭、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど、心に思い考えていることや感じていることを、少年らしい自由でユニークな発想で、飾り気のない言葉でまとめたもの。
 - ・発表時間は5分程度（5分30秒まで）とし、400字詰原稿用紙4～5枚程度。1人1点、未発表のものに限ります。
 - ・パネルなどの小道具については、発表内容に沿った物であれば可とします。（中学生の部に限る。）
11. 表 彰 大会における発表者に対して、賞状及び副賞を授与します。
（最優秀賞：各部門3名ずつ、優秀賞：若干名）
12. 県 大 会 中学生及び義務教育学校（後期課程）生徒の部で最優秀賞に選ばれた3名は、「少年の主張福島県大会」（令和7年9月25日 喜多方市開催）に、**出場候補者として推薦**いたします。
なお、県の推薦枠に応じて優秀賞に選ばれた方から推薦する場合があります。
※被推薦者が必ず県大会に出場できるとは限りません。
県大会出場者については、各市町村より推薦された中学生及び義務教育学校（後期課程）生徒の中からさらに**作文審査により選考**されます。
13. そ の 他 応募作品は、返却しません。
発表及び表彰式の写真は、翌年のポスターや会津若松市青少年育成市民会議広報紙（市政だより挟み込み）、市HP等に掲載される場合があります。
また、発表者名・題名・作文本文等も同様に掲載する場合があります。
※天災地変や感染症等の影響により、発表方式による開催が困難であると判断した場合には、作文審査のみとなる場合があります。

14. 審査基準

《論旨》

- 1 鋭い感性で新鮮な主張であるか
- 2 新しい情報や視点があるか
- 3 個人の体験に留まらず、一般性・社会性があるか
- 4 提案や提言を実現・実践する意欲が感じられるか
- 5 論旨が一貫し、構成がしっかりしているか

《論調・態度》

- 1 話しぶりに熱意と迫力があるか
- 2 主張の内容が共感と感銘を与えてくれるか
- 3 説得力のある話し方であるか
- 4 落ち着いて話ができているか
- 5 少年らしい爽やかさがあるか

15. 審査員（予定）

《小学生及び義務教育学校（前期課程）児童の部》

- 1 ワイズメンズクラブ北東部
- 2 福島民報社会津若松支社
- 3 会津若松市中学校長会
- 4 会津若松市教育委員会
- 5 会津若松市父母と教師の会連合会
- 6 会津若松市青少年育成市民会議
- 7 会津若松市生涯学習総合センター
- 8 福島県立会津工業高等学校（生徒）

《中学生及び義務教育学校（後期課程）生徒の部》

- 1 会津若松西ロータリークラブ
- 2 福島民友新聞社若松支社
- 3 会津若松市小学校長会
- 4 会津若松市教育委員会
- 5 会津若松市教育委員会学校教育課
- 6 会津若松市生涯学習総合センター
- 7 福島県立会津工業高等学校（担当教諭）
- 8 福島県立会津工業高等学校（生徒）